

井の頭恩賜公園を対象とした都市公園の利用実態に関する調査研究

明星大学理工学部建築学科 学生会員 ○浅見 拓哉
明星大学理工学部建築学科 正会員 藤村 和正

1. はじめに

公園、緑地の役割は、レクリエーション、防災性、ヒートアイランド現象の緩和、都市景観といった点である。今日、都市公園には、公園機能を再評価し、効率的な整備が必要とされている。そのためには、公園の利用実態を分かりやすい指標で把握し、資料を整理することにより、今後の整備の具体的な方向を表すことが重要である。以上を踏まえて、本研究では、都市公園の利用者実態を把握する手法の一つとして、井の頭恩賜公園を対象に交通量と利用者グループ構成員調査及びアンケート調査を行い、公園利用者の特性を明らかにすることを目的とする。

2. 井の頭恩賜公園の概要

井の頭恩賜公園は皇室の御料地が東京市に下賜され、大正6年(1917年)に開園し、以来、井の頭池を中心的存在として、歴史的、文化的価値ある公園として市民に利用されている。面積は38.5haであり、都市計画法では特殊公園の中の風致公園に位置づけられている。公園敷地は東京都三鷹市と武蔵野市にまたがっており、公園内には、池、運動場施設、動植物・水生生物の自然文化園があり、日曜日にはフリーマーケットも実施されている。また、公園に隣接して三鷹市立アニメーション美術館(三鷹の森ジブリ美術館)が存在している。

3. 交通量調査及びグループ構成員調査

交通量とグループ構成員は同時に調査する手法とした。測定地点は井の頭池にかかる七井橋上であり、公園内の交通量は歩行者を対象に左岸(吉祥寺駅方向)と右岸(狛江橋方向)に向かう歩行者に分けて計測した。グループの構成員種別は、ベビーカー、乳児、女性、男性で、さらに年代別として、幼児、小学低学年、小学高学年、中学生、高校生、20代、30代、40代、50代、60代、高齢者とし、合計24区分とした。年代の判定は調査員が「見た目」で行った。1カウントを1グループとし、男女年代別及び

構成員数を記録紙に記入した。なお1人の場合も1グループと見なしている。調査は、平成20年11月中の金曜日2回と日曜日2回の計4回実施した。調査時間はおよそ午前11時から午後3時にかけての日中約4時間である。全調査日の調査結果を利用者数については表1に示し、利用者割合については表2に示す。この調査結果から、平日(金曜日)は女性利用者が男性利用者を上回っているが、休日はほぼ同数である。年代別では女性20代が多く、また20代から50代にかけての女性が比較的多い。さらに、男性では20代の利用者が比較的多いのが特徴と言える。グループ構成員数の1時間当たりの度数を図1及び図2に示す。平日は個人利用者が多いが、休日は2人グループが多い。また、11月30日(日)については、紅葉の見ごろのため、利用者数が圧倒的に多かった。

4. アンケート調査

アンケート調査は、公園の4つ機能、レクリエーション、環境保全、防災、景観を参考に15の質問項目を決定し、5段階評価とした。調査日は、11月21日(金)、11月22日(土)、11月29日(土)の3日間、調査時間はそれぞれ午前11時から午後3時までの日中約4時間で被験者は合計34人である。調査結果として評価項目の平均値は全体として高く公園に満足している様子が伺える。特に、「散歩に利用」「楽しめる」「健康運動」などの得点が高い。一方、「池の色」「ボランティア活動」「掲示板」などの得点は低い。次に、アンケート調査結果を因子分析にかけた。因子抽出は主因子法とし、バリマックス法による直交回転を行った。固有値1を目安とし因子数を4に決定し、因子負荷量は絶対値0.5として構成項目をまとめた。表3に井の頭恩賜公園アンケートの因子分析結果を示す。第1因子は「池の色」「水辺景観」「楽しめる場所」で構成されており、井の頭池を中心とした親水公園であることが示されている。第2

因子は「コミュニケーション」「森林・自然」「安心」「設備」から構成されており、都市公園が有すべき基本的な性質であると考えられる。

5. まとめ

本研究では都市公園の利用実態を把握する新たな試みとして、交通量と利用グループの構成員数を同時に計測する調査と公園機能に関するアンケート調

査を井の頭恩賜公園において行い、公園の利用者特性を明らかにした。その結果、女性の利用者が多いこと、構成員数2（2人連れ）が休日に多いこと、また、「親水」と「憩い」が公園の特徴であることが示された。今後、他の都市公園も対象に利用者実態調査を行い、公園の利用実態把握の方法を検討して行きたい。

表1 井の頭公園利用者構成員調査結果

月日	時間	乳児等		女性											男性											計
		BC	乳児	幼	小低	小高	中	高	20	30	40	50	60	高齢	幼	小低	小高	中	高	20	30	40	50	60	高齢	
11/7 (金)	11:00	36	8	21	3	0	0	7	281	183	136	219	80	23	12	10	0	0	11	231	119	127	224	125	15	1,871
	15:00	44		953											874											
11/9 (日)	11:00	59	21	28	61	28	29	57	405	283	199	290	180	35	25	34	34	24	63	379	302	235	291	219	27	3,308
	15:00	80		1,595											1,633											
11/14 (金)	11:30	49	23	25	8	3	1	4	293	220	166	218	163	87	37	7	8	0	8	233	138	90	160	131	62	2,134
	15:00	72		1,188											874											
11/30 (日) 片方向	11:00	147	12	85	134	36	27	9	842	400	304	256	91	79	89	107	27	36	33	757	366	299	269	154	136	4,695
	15:00	159		2,263											2,273											

表2 井の頭公園利用者構成員調査結果(率) (%)

月日	時間	乳児等		女性											男性											計
		BC	乳児	幼	小低	小高	中	高	20	30	40	50	60	高齢	幼	小低	小高	中	高	20	30	40	50	60	高齢	
11/7 (金)	11:00	1.9	0.4	1.1	0.2	0.0	0.0	0.4	15	9.8	7.3	11.7	4.3	1.2	0.6	0.5	0.0	0.0	0.6	12.3	6.4	6.8	12	6.7	0.8	100.0
	15:00	2.3		51.0											46.7											
11/9 (日)	11:00	2.0	0.7	1.0	2.1	1.0	1.0	2.0	13.2	8.6	5.5	8.3	4.1	1.2	0.9	1.2	1.2	0.8	2.2	12.2	9.4	6.7	8.3	5.5	0.9	100.0
	15:00	2.7		48.0											49.3											
11/14 (金)	11:30	2.3	1.1	1.2	0.4	0.1	0.1	0.2	13.7	10.3	7.8	10.2	7.6	4.1	1.7	0.3	0.4	0.0	0.4	10.9	6.5	4.2	7.5	6.1	2.9	100.0
	15:00	3.4		55.7											40.9											
11/30 (日) 片方向	11:00	3.1	0.3	1.8	2.9	0.8	0.6	0.2	17.8	8.5	6.5	5.5	1.9	1.7	1.9	2.3	0.6	0.8	0.7	16.0	7.8	6.4	5.7	3.3	2.9	100.0
	15:00	3.4		48.2											48.4											

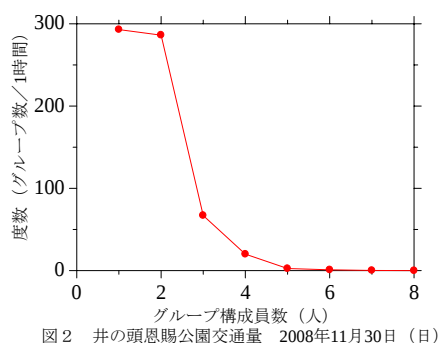
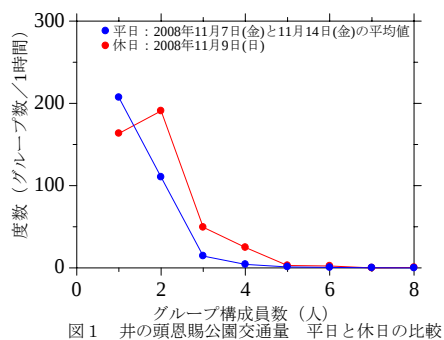


表3 因子分析の結果

解釈	変数名	因子No.1	因子No.2	因子No.3	因子No.4
親水	池の色	0.818	-0.073	-0.107	0.178
	水辺景観	0.759	0.324	0.059	0.064
	楽しめる場所	0.535	0.190	0.108	0.042
憩い	コミュニケーションの場	-0.011	0.759	-0.128	0.266
	森林・自然	0.306	0.661	0.201	0.201
	安心	0.255	0.581	0.194	-0.022
	公園設備	0.360	0.425	-0.074	-0.097
関心参加	野外イベント認知	-0.028	0.052	0.764	-0.087
	歴史的	0.105	0.161	0.734	0.076
	ボランティア活動認知	-0.016	-0.145	0.502	0.281
活用	健康・運動	0.127	0.094	-0.069	0.849
	避難場所	0.020	0.089	0.080	0.533
固有値		3.150	1.559	1.204	1.016
寄与率		13.96%	13.28%	11.59%	10.66%
累積寄与率		13.96%	27.24%	38.83%	49.49%